



外科的  
症状  
休日・夜間に

# やけどをしたとき

## 観察する



落ち着いて、  
しっかり  
見ましょう

- やけどの範囲
- やけどの深さ

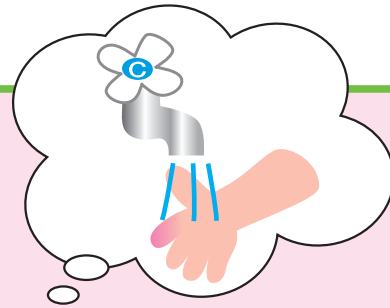
### やけどの深さの分類

第1度	皮膚の表面が赤くなっていて、水ぶくれ（水泡）にはならない程度
第2度	水ぶくれができていような状態
第3度	皮下組織まで達するやけどで、皮膚が黒く焦げたり、白くなっているような状態

※乳幼児の場合、スイッチを入れたままのカーペットや使い捨てカイロなどでも低温やけどになることがあります。

## 家庭でできること

### ● しっかり冷やす



第1～2度の場合は、出しっぱなしの水道水で30分冷やす。

- 手足の場合……………出しっぱなしの水道水で冷やす。患部に直接、勢いよく水をあてると、水ぶくれを破ってしまったり、冷たすぎて長時間冷やせないで、洗面器に受けるなどして、水の勢いを弱めて冷やす。
- 顔や頭の場合……………シャワーの水や濡れたタオルで冷やす。鼻や口の周辺で呼吸しづらい場所のときは、こまめに冷えたタオルを取替えながら冷やす。
- 全身・広範囲の場合…衣服を脱がせずに冷やす（衣服を脱がせる時に皮膚がはがれてしまうことがある）。濡れたバスタオルで包み、その上から毛布をかけてくるみ、急いで病院へ行く。